

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年8月6日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 新谷 正伸
問合せ先責任者(役職名) 管理部門担当執行役員(氏名) 大谷 隆一 (TEL) 03-3518-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	95,946	6.4	5,877	13.1	7,293	30.2	4,722	27.5
2023年9月期第3四半期	90,188	13.8	5,195	23.5	5,601	10.3	3,705	2.8

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 5,961百万円(34.7%) 2023年9月期第3四半期 4,426百万円(△4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	164.07	163.18
2023年9月期第3四半期	128.90	128.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	77,032	48,266	62.5
2023年9月期	68,537	43,890	63.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 48,171百万円 2023年9月期 43,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	21.00	—	22.00	43.00
2024年9月期	—	22.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	4.5	6,800	4.2	7,500	5.8	4,900	2.4	170.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年 9 月期 3 Q	29,007,708株	2023年 9 月期	29,007,708株
② 期末自己株式数	2024年 9 月期 3 Q	215,028株	2023年 9 月期	236,385株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年 9 月期 3 Q	28,784,607株	2023年 9 月期 3 Q	28,744,444株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済の景気はこのところ足踏みもみられますが、緩やかに回復しています。世界経済は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直しています。当社グループがビジネスを展開する地域別に概観すると、米国では、先行きについては景気拡大が続くことが期待されていますが、物価上昇率の下げ止まりに伴う影響による下振れリスクに留意する必要があります。中国では、政策効果により供給の増加がみられるものの、景気は足踏み状態となっています。その他アジア各国の景気はおおむね緩やかに回復しています。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、95,946百万円（前年同四半期比6.4%増）となり、営業利益は5,877百万円（前年同四半期比13.1%増）、経常利益は7,293百万円（前年同四半期比30.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,722百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

①化成品

ゴム関連商品は、自動車の国内生産好調により原材料需要は回復傾向にあるものの、売上は減少しました。他方、輸入品の販売価格見直しや高付加価値商材の副資材の販売増加で、利益は堅調に推移しました。

化学品関連商品は、主力商材の好調や仕入価格高騰を反映した価格見直しによる利益率の改善などが進み、売上、利益ともに好調に推移しました。

ライフサイエンス関連商品は、主力商材の電材や界面活性剤などが好調なことや、新規商売の掘削資材が継続して好調となり、売上、利益ともに堅調に推移しました。

この結果、売上高は30,642百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2,043百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品は、日系自動車メーカーの生産好調により売上は好調に推移したものの、競争環境変化が利益に影響しました。

グリーンテクノロジー関連商品(旧 機械・環境関連商品)は、飼料加工機器の本体納入および関連消耗品販売が堅調となり、好転しました。木質バイオマス関連事業は、大型案件の受注がありましたが本体案件の計上はなく、売上、利益ともに減少しました。

科学機器関連商品は、メーカーの値上げなど販売価格高騰による受注減少や円安の影響で売上、利益ともに減少しました。

コスモス商事(株)が取扱う資源開発関連商品は、海洋開発分野や石油・ガス関連機材が好調に推移したほか、地熱関連機材は閑散期が明け復調しました。(株)ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は主力商品の需要が弱含み、利益は減少しました。(株)スクラムが取扱うバイオ分野の研究支援機器は、遺伝子解析関連を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は37,803百万円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益（営業利益）は3,620百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、高機能性樹脂の販売単価下落により、売上は減少しましたが、フィルム関連や自動車関連が堅調で利益は増加しました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、景気減速の影響を受け、業績は低調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、自動車関連が好調でした。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、自動車関連とゴム関連が好調でした。Sanyo Trading India Private Limitedは、自動車関連が好調でした。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、掘削資材の新規立ち上げが業績に貢献しました。PT. Sanyo Trading Indonesiaは、ゴム関連で一時的な需要増があり好調でした。

この結果、売上高は26,353百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,461百万円（前年同四半期比46.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、営業活動の拡大等を通じ、現金及び預金、売掛債権および棚卸資産が増加したこと等により、前連結会計年度末比7,180百万円増加し、64,469百万円となりました。

固定資産は、開発中の次期基幹システムに係るソフトウェア仮勘定の増加や投資有価証券の時価上昇等により、前連結会計年度末比1,314百万円増加し、12,563百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は77,032百万円（前連結会計年度末比8,495百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、仕入債務や前受金が増加したこと等により、前連結会計年度末比3,906百万円増加し、26,567百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少があったものの、繰延税金負債等の増加等により、前連結会計年度末比213百万円増加し、2,198百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は28,766百万円（前連結会計年度末比4,119百万円の増加）となりました。

(純資産)

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により増加しました。投資有価証券の時価上昇により生じたその他有価証券評価差額金等により、その他の包括利益累計額が増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産は48,266百万円（前連結会計年度末比4,376百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期連結業績予想につきましては、2024年5月9日発表の通期予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,031,285	8,683,005
受取手形、売掛金及び契約資産	22,249,273	23,550,739
電子記録債権	2,545,123	2,935,116
商品及び製品	23,148,611	24,559,648
仕掛品	66,829	107,686
原材料及び貯蔵品	214,155	287,613
その他	2,124,073	4,404,860
貸倒引当金	△90,360	△59,090
流動資産合計	57,288,989	64,469,580
固定資産		
有形固定資産	3,238,052	3,174,993
無形固定資産		
のれん	1,600,965	1,478,677
その他	253,121	564,683
無形固定資産合計	1,854,087	2,043,361
投資その他の資産		
投資有価証券	4,274,302	5,159,740
その他	1,915,702	2,222,834
貸倒引当金	△33,724	△37,511
投資その他の資産合計	6,156,280	7,345,063
固定資産合計	11,248,420	12,563,418
資産合計	68,537,410	77,032,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,838,354	12,398,018
短期借入金	5,350,394	5,806,318
1年内返済予定の長期借入金	30,936	—
未払法人税等	1,602,878	966,180
引当金	888,445	752,088
その他	2,950,346	6,645,012
流動負債合計	22,661,356	26,567,619
固定負債		
長期借入金	333,755	150,000
引当金	70,292	72,705
退職給付に係る負債	926,658	942,941
その他	654,633	1,032,759
固定負債合計	1,985,339	2,198,406
負債合計	24,646,695	28,766,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	413,388	447,263
利益剰余金	39,040,908	42,497,135
自己株式	△113,753	△103,521
株主資本合計	40,347,130	43,847,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,535,036	2,126,270
為替換算調整勘定	1,560,372	2,197,806
その他の包括利益累計額合計	3,095,408	4,324,076
新株予約権	96,238	91,956
非支配株主持分	351,935	3,473
純資産合計	43,890,714	48,266,972
負債純資産合計	68,537,410	77,032,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	90,188,574	95,946,953
売上原価	74,981,208	79,250,001
売上総利益	15,207,365	16,696,952
販売費及び一般管理費	10,012,144	10,819,220
営業利益	5,195,221	5,877,731
営業外収益		
受取利息	12,835	48,078
受取配当金	89,025	107,568
為替差益	266,851	1,110,954
その他	149,044	258,819
営業外収益合計	517,756	1,525,420
営業外費用		
支払利息	78,815	52,365
その他	32,465	57,681
営業外費用合計	111,281	110,047
経常利益	5,601,696	7,293,104
特別利益		
投資有価証券売却益	220,064	—
特別利益合計	220,064	—
税金等調整前四半期純利益	5,821,760	7,293,104
法人税等	2,099,263	2,561,840
四半期純利益	3,722,497	4,731,264
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,307	8,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,705,189	4,722,635

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,722,497	4,731,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	533,131	592,513
為替換算調整勘定	170,376	637,456
その他の包括利益合計	703,508	1,229,969
四半期包括利益	4,426,005	5,961,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,408,583	5,951,318
非支配株主に係る四半期包括利益	17,421	9,916

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

在外子会社等の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しています。

この変更は、在外子会社等の重要性が今後更に見込まれることから、一時的な為替相場の変動による期間損益等への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものです。

なお、2006年9月30日以前については変更後の算定を行うために必要な情報を保持しておらず、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を算定することは実務上不可能なため、2007年10月1日から将来にわたり変更後の会計方針を適用しています。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は1,244百万円、営業利益は141百万円、経常利益は34百万円、税金等調整前四半期純利益は34百万円および親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円それぞれ減少しており、1株当たり四半期純利益は93銭減少しています。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は39百万円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額増加しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	323,307千円	228,011千円
のれんの償却額	467,799千円	472,547千円

(注)「会計方針の変更」に記載のとおり、在外連結子会社等の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,279,456	34,766,774	25,314,037	89,360,268	734,690	90,094,959	93,614	90,188,574
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,538,660	759,188	1,721,313	6,019,162	170,930	6,190,093	△6,190,093	—
計	32,818,116	35,525,963	27,035,351	95,379,431	905,621	96,285,052	△6,096,478	90,188,574
セグメント利益 又は損失(△)	1,667,909	3,570,336	995,312	6,233,558	△225,569	6,007,988	△812,767	5,195,221

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。
2. 調整額は、以下のとおりです。
- (1) 外部顧客への売上高の調整額93,614千円は、管理会計との為替調整額です。
- (2) セグメント利益又は損失の調整額△812,767千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△769,515千円、管理会計との為替調整額△250,688千円、その他の連結調整額207,436千円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、(株)コスモ・コンピューティングシステムの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「その他」セグメントにおいて、のれん438,082千円を計上しています。また、第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度に行いました(株)スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん26,106千円を計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,642,627	37,803,507	26,353,509	94,799,643	955,897	95,755,541	191,411	95,946,953
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,179,082	1,824,793	1,384,013	7,387,889	467,660	7,855,550	△7,855,550	—
計	34,821,710	39,628,300	27,737,522	102,187,533	1,423,558	103,611,092	△7,664,138	95,946,953
セグメント利益 又は損失 (△)	2,043,330	3,620,801	1,461,266	7,125,398	△77,405	7,047,993	△1,170,261	5,877,731

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額191,411千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△1,170,261千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△919,818千円、管理会計との為替調整額 △273,260千円、その他の連結調整額22,817千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、前々連結会計年度に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん350,260千円を計上しています。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より在外子会社等の収益および費用を期中平均相場により円貨に換算する方法に変更を行っています。なお、前第3四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しています。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

企業の名称 株式会社ケムインター

事業の内容 工業化成品・電子材料の輸出入及び販売

(2) 企業結合日

2024年4月26日(株式取得日)

2024年4月1日(みなし取得日)

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

非支配株主が保有する株式を全て取得しました。

この株式の追加取得により、同社は当社の完全子会社となりました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しています。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得の対価 現金

取得原価 330,000千円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって増加した資本剰余金の金額

22,649千円